

レベル
★
ハイキング

固有植物の宝庫 世界遺産の父島・母島をめぐる

6名様から催行

小笠原諸島 大自然探訪7日間

東京都

3月24日(金)~3月30日(木)

※竹芝桟橋発着は3月25日(土)出発の6日間になります。
他の発着地についてはお問い合わせ下さい。

旅行代金 6名様以上のご参加 おひとり 230,000円 (新千歳発着)

202,000円 (竹芝桟橋発着)



↑母島の南端、小富士から見渡す紺碧の大海原

ポイント

- 1 世界自然遺産登録の自然あふれる遥かな離島へ
- 2 1日100人限定、上陸が制限されている無人島・南島で特殊な地形と貴重な生態系を見学!
- 3 父島では南端の断崖絶壁へハイキング、夜の森へのナイトツアー、母島ではプランを選べるフリータイムと、小笠原の自然に触れる内容が満載!
- 4 ホエールウォッチングのベストシーズン!



↑2月~4月下旬はザウクジラが見られるベストシーズン(イメージ)

←母島列島の固有種ハジマメグロ(イメージ)

[利用予定航空会社] 全日空、エアドゥなど
[利用予定ホテル]、ブーゲン(父島)、ペンション・ドルフィン(母島)または同等クラス

[食事] 朝4回・昼2回・夕2回 [最少催行人数] 6名

[一人部屋追加料金] 設定なし(お問い合わせ下さい)

[おがさわら丸の船室ランクアップ料金]

往復とも2等船室利用となります。船室のランクアップをご希望の方は承ります

[添乗員] 新千歳空港から全行程同行。父島のハイキングやナイトツアーには地元ガイドが同行します。母島ではご希望のプランにより現地にてガイド手配が可能です。



↑自然保護から上陸者数が制限されている無人島の南島に上陸します。海ガメの産卵地としても知られる貴重な島です

	日	地名	行程	食事
1	3/24 (金)	新千歳 羽田 都内	新千歳 羽田 着後、都内ホテルに移動。ホテルチェックイン後、フリータイム。 夕食は各自お取りください。 【都内/ホテル】	—
2	3/25 (土)	竹芝 船中	朝食後、公共の乗り物にて竹芝船客ターミナルへ。現地より参加の皆様と合流します。現地より「ナショナルランド」カウンター集合(~10:30)。 東京より小笠原へ向け出港。 【船中泊】	朝 — —
3	3/26 (日)	父島	小笠原・二見港到着。 宿のスタッフに荷物を預け各自昼食。 パノラマボートツアー ~ポニンブルーと呼ばれる海へ~(混乗) イルカ&ホエールウォッチングと南島上陸。 夕食後、神秘的な父島の夜を体験するナイトツアーへ【約2時間】 ※天然記念物「オガサワラオオコウモリ」「オカヤドカリ」などを観察予定 【父島/民宿泊】	— — 夕
4	3/27 (月)	父島	朝食後、 ジャングル・トレッキング へ。地元ガイドの案内で、稀少植物や固有種を観察しながら森を抜け、父島南端の断崖絶壁・ 千尋岩(通称ハートロック) までハイキング。この時期は千尋岩の上から クジラ が見られるかもしれません。 夕食は各自自由食。 【父島/民宿泊】	朝 弁 —
5	3/28 (火)	母島	朝食後、母島行き船客待合所へ。 7:30 父島発〜〈ははじま丸〉〜 9:40 母島着。 着後、 フリータイム 。母島最高峰 乳房山 登山、母島最南端 南崎 ハイキングなど、ご希望プランにより地元ガイドの手配が可能です(ガイド料は現地払い)。 母島観光協会から散策マップを手に入れ、「静沢遊歩道」「鮫が崎展望台」「清見が岡鍾乳洞」「ローズ記念館」などの見学も可能です。 集落の散策では、母島列島にしか生息していない ハハジマメグロ (特別天然記念物)に出会える可能性もあります。 【母島/民宿泊】	朝 弁 夕
6	3/29 (水)	母島	朝食後、出発までフリータイム。 11:30 母島船客待合所へ。 12:00 出港。 14:00 父島到着。 15:30 東京へ向け出港。 (小笠原名物! 地元ボートのお見送りは壮観!) 【船中泊】	朝 弁 —
7	3/30 (木)	竹芝 羽田 新千歳	朝食・昼食は船内で各自にてお取り下さい。 〜 15:30 竹芝棧橋着。現地発着の皆様はここで解散となります。 公共交通機関で羽田空港へ移動。羽田(夕刻~夜)→新千歳(夜)	— — —

※現地の諸事情により、多少行程が変更になる場合があります。※歩程は休憩などを除いた実質歩行時間の目安です。

※船の時間は予定出港時間です。天候などにより、遅発または欠航となる場合がありますので、予めご了承下さい。

※フェリーの遅発または欠航によって行程変更、ツアー続行不可能となった場合、生じる差額分についてはご返金いたします。ただし、島内にて延泊料金が発生する場合はお客様のご負担となります。

小笠原諸島 概念図



↑父島南端の断崖絶壁「千尋岩(通称ハートロック)」へ。柵も何も無い高さ約200mからの眺めは圧巻です



クコースで見られる小笠原固有種のムニンツバキ



↑島の郷土料理も楽しみです。写真はアカバ(アカハタ)の味噌汁

→父島の三日月山展望台など、海に沈む夕日の絶景スポットも多数

